



いつついし自治会報 **4**月号  
545号  
<https://fukumitsu-kc.7104.info>

## 今年も火伏訓練実施

2月22日(木)雨の降る中、令和6年福光地区火伏訓練が行われました。今年は、西町の太平株式会社北側倉庫から火災が発生し、南西の風にあおられ西町公民館に飛び火したとの想定で訓練が行われました。太平北側倉庫前では、社員による初期消火訓練と通報訓練が行われ、飛び火先の西町公民館前では西町自主防災会による初期消火訓練と通報訓練が行われました。消防団による放水訓練では中継送水訓練、延焼防止の水幕放水訓練などが行われました。

訓練終了後、福社会館前での閲団、宇佐八幡宮で火伏祈願神事があり、福光交流センターにて式典が執り行われました。



大平株式会社社員初期消火



大平株式会社西側放水



西町中継送水



西町水幕放水



火伏祈願神事

## 第5回 「ふくみつ未来創造会議」(最終回)

### ～みんなで作るアクションプラン③～

「ふくみつ未来創造会議」の第5回目が、2月28日(水)午後7時より開催されました。県の話し合い事業を活用して開始したこの会議は、前回で当初の予定を終了しましたが、いつついし自治会がまとめの会として開催しました。

今までの4回を振り返って、参加者一人一人がざっくばらんに感想を述べ、前回まとめられた6つのアクションプランをさらに深めるための話し合いをしました。講師の長谷川敏栄氏と県の担当職員の方々も参加してくれました。

講師からは、それぞれのアクションプランについて、アドバイスをいただき、今後実行していくための注意点などについてもご意見をいただきました。

6つのアクションプランは、さらに具体的な実行計画を立て、各プランの実行体制を明確にして、令和6年度事業計画として実現していきます。

これらのプランは、地域の人が主役になってみんなで楽しみながら進めていくアクションプランです。みなさんの参加をお待ちしています！





## 能登半島地震の際の大規模火災

皆さんはご存じだと思いますが、1月1日(月)の能登半島地震の際、輪島市において大規模な火災が発生し、朝市通り周辺が燃えて、家々が黒焦げになり、無残な光景が広がっていました。



### 地震時の電気火災の注意点は、



- ① 地震の揺れで電気ストーブやコンロなどの機器が転倒
- ② 電源コードや配線が損傷したりすることなどに起因する火災
- ③ 停電後に電気が復旧しストーブから近くの可燃物に着火するなどの「通電火災」

外へ避難する場合はブレーカーをOFFにし、電気火災には十分注意を！ 決して人ごとではありません。

(安全部会部長)



## 4月

### 行事のお知らせ

- 2日(火) 13:30～ そくさい会
- 11日(木) 10:00～ 貯筋体操教室(鶴友会)
- 12日(金) 14:00～ 福寿大学(鶴友会)
- 16日(火) 13:30～ そくさい会
- 21日(日) 春季例大祭 神輿巡幸
- 23日(火) 19:00～ 町内会会長会
- 25日(木) 10:00～ 貯筋体操(鶴友会)
- 27日(土) 10:00～ いつついし自治会総会

福光地区

## 3月詠草

### 福光短歌会

年金の暮らしなれども幸せに	裏金は自民党だけが反対し	如月の景色なるかな露の臺	今日又竹馬の友が逝ぎにけり	恵まれてため息も無く過ごしをり
反面教師の母を重ねつ	岸田総理が持つかどうか	緑の土手に小さき頭	懐かしく寂し夢語りし日	向かいの山も静かに構えり
福光和歌子	宮岸 昇	桃野 瑞恵	宮崎 平作	斉藤よしえ

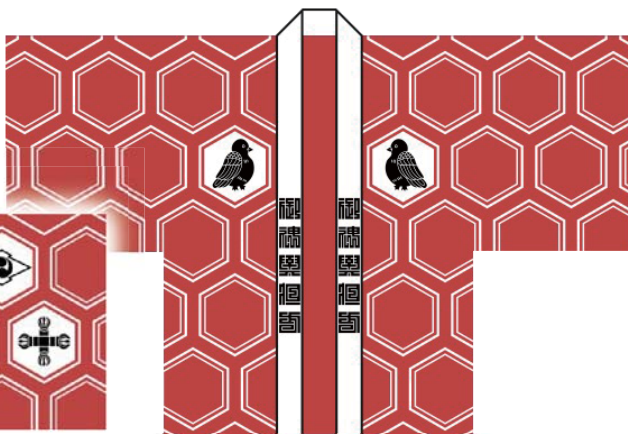
### 福光俳句会

あらたまの年明け地震の襲ふとは	線香の火を確かむる春嵐	枝先の透通る雪零る音	玄関の鍵の固さよ冴返る	露の臺もう出る頃と目を皿に	残雪の山容美しき薬師岳	冬晴やはるか立山拜む幸	明日の句を練るや春雪窓を打つ	残雪の嵩や大寺の御堂裏
山下 喜就	安田 富子	名村 五月	中山 朝	利川 輝	尾崎 悦子	大浦 昌美	梅島くにを	駒形 隼男

# 令和6年 御神輿担方 法被デザイン決定



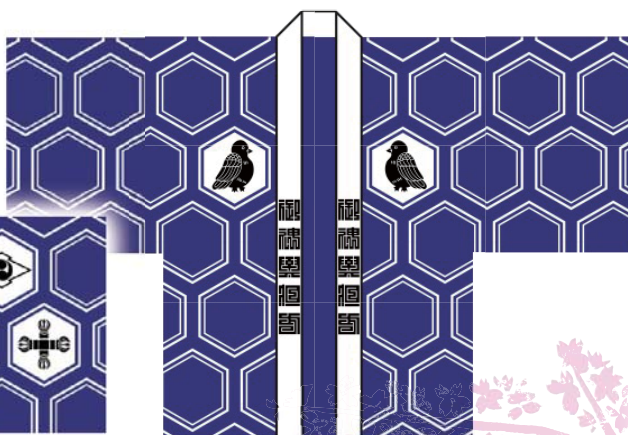
翔和会  
/ 61歳



飛永会  
/ 42歳



辰巳ノ会  
/ 25歳



令和6年度法被デザインが決定いたしました。三会同じデザインの色違いで驚かれた方も大勢いらっしゃるかと思います。そこには、令和6年度担ぎ方の思いがあり、この先御神輿巡幸を続けていくにあたり法被の製作が少なからず担ぎ方の負担になっていくのではないかと考え、今回製作する法被を今後の担ぎ方にも着ていただければと思い製作いたしました。

これは決して強要するものではなく自分達の法被を作られる担ぎ方もいらっしゃると思います。もし着ていただける担ぎ方がいらっしゃるのであれば、長く法被を受け継いでいく願いを込め亀の紋をベースに、いつ誰が着ても問題ないように正面には向鳩、背面には十八町の紋をあしらった法被とさせていただきます。

令和6年度御神輿担ぎ方一同